

## セミナー報告令和8年度 男女共同参画セミナー①

### 『男女がともに支え合う介護』

～安心して暮らすために考えておきたいこと～

令和8年6月20日(土) 10時～12時

講師 <sup>いん</sup> 因 <sup>とし え</sup> 利恵さん (日本ホームヘルパー協会名誉会長 / 福岡県介護福祉士会名誉会長

/地域密着型特別養護老人ホーム理事長・統括施設長)



#### 【講師プロフィール】

1979年より福岡市で家庭奉仕員(現・訪問介護員)として現場の第一線で介護に従事。豊富な実績を基に、大学での教鞭や介護関連団体の委員を歴任し、次世代の育成と制度設計に尽力した。福岡県介護福祉士の会長を30年間務め、2021年6月に勇退。

現在は、地域密着型特別養護老人ホーム「かあむ茜月」の理事長として、法人として日本で初めて「DX認定」を取得するなど、テクノロジーを活用した質の高い介護環境を構築している。著書や講演を通じて「無理をしない介護」の普及など、これからの時代に向けた介護のあり方を提唱している。

#### 《セミナー概要》

専業主婦から「家庭奉仕員」「ホームヘルパー」など、長年現場経験を積まれ、それらを基に団体や教育現場でのご指導に至るまで、現在のホームヘルパー、介護制度の礎を長きに渡り築いてこられた第一人者である講師より、男女や世代にかかわらず、身近な介護との向き合い方を学んだ。まず「高齢化における介護の現状」は不名誉でもある『日本の高齢化は世界一』であり、若い人に負担がかかっている。また更に、少子化の日本の現状も拍車をかけて、各界の問題でもある人材不足にもつながっているため、若い世代の介護職に就く人も少なく、50～60代前半が半数以上で、外国人労働者にも多く頼っている。次に、突然身起こり、いつまで続くのかわからない家庭での介護問題。身内で介護が発生したらどうするのか？あなた自身が要介護状態になったら、誰に看てもらうのか？最後に、豊かな老後を過ごすためにはどうしたら良いか？など、介護が発生した際に、まずどこに相談したらよいのかを講師作成の資料のほかに、介護サービスを利用するにあたっての、太宰府市の介護保険制度掲載の「高齢者支援パンフレット」でのわかりやすい説明があり、講師の経験豊富な事例を、ユーモラスを交えてのお話で、受講生も信頼感と安心感をもって拝聴することができた。講師自らも家族の介護を経験しているため、講師の母が「ベッドの周りに段ボールを積み上げ空調問題を解決しようとしていた時に「何をしているの！！だから空調を買ったのに！」と叱りつけてしまうが、介護施設の利用者には、「よくできていますね・・・」など褒めることができる話などを披露して、家庭で介護と向き合っている人には学びと勇気をいただけた。講師は未来の介護業界の人材不足解消の一つとして、ICT化、介護ロボットの実用化の早急な実現への働きかけもされている。日頃から積極的に「社会参加」『教養(今日用事がある)』『教育(今日行く所がある)』、「遠くの親戚より近くの他人」の言葉の様に、地域とのつながりを持つ事が大事で、地域包括支援センターの利用、また介護費用の面で、仕事などを辞めずに働き方を調整し、一人で抱え込まずに、まずは職場や自治体への相談からはじめ、介護休業や介護サービスを利用して介護と向き合うことを推奨されていた。(受講者数59人)

<受講生の感想> ※一部抜粋

- ・わかりやすく、全体的なシステムや心構えがわかりました。夫婦で聞けて良かったです。
- ・例えを通して話をされる内容、とても良かったです。現場を知っておられるのが、安心感と信頼がもてました。
- ・105才の義父を介護しています。介護2の認定を受けてデイケアに週3回通ってます。ほぼ自立しているので、介護という程のことはしていませんが、やがて来る介護の日の為の心構えとして参加しました。
- ・穏やかで分かりやすく、生活相談員としての立場としても、大変勉強になりました。私も親の介護をする立場となりますので、今回の話を参考にさせていただきます。
- ・分かりやすい話法と速度で、ポイントを押さえながら、大切なことを押さえて頂きました。さすが、長いキャリアで多くの人と対話されてきている方だと感じました。
- ・話、内容がわかりやすかった。仕事（介護関係）もしているので、意識向上につながった。
- ・介護休暇、介護休業があることを知り良かったです。
- ・事前の備えの大切さがよく分かりました。楽しく勉強できました。地域や友人のつながりを作っておかなければ、いけないこともよく分かりました。
- ・介護の仕事の大変さは、本当に感じています。私も高齢ですが、できるだけお世話にならず、自分でできる事、運動したりして健康で生活したいと思います。介護は一人で悩まないこと。
- ・介護の実務の話が聞けて、自分の事、家族の事で今後どういう問題に直面するのか、予備知識を学べて良かったです。
- ・介護現場の話も交えて、わかりやすい内容だった。
- ・全てが勉強になる心に刺さるお話でした。先生のお話のされ方がとても分かりやすく、余談も楽しく拝聴することができました。親の介護、自分のこと、日々考えていたので、学びと勇気をいただきました。ありがとうございました。
- ・キョウヨウ（教養）とキョウイク（今日行く）を忘れずにしたい。
- ・性別に関係なく介護の問題に直面する。参考になった。障害のある方の参加が無いように感じた。（聴覚、車いすなどの方で健康に生活される方の）参加は？
- ・もとケアマネです。この知識、地域で還元したい。つくづく必要（広めること）だと思いました。
- ・人手不足は、各界で深刻なので、男性（主に高齢の）家事能力や介護力をつけるプログラムは、必要です。それが残存能力の開発にもつながるのではないのでしょうか。若い男性の育児能力を伸ばすのと同様に。
- ・介護には男女の性差は全く関係ないことを改めて知りました。
- ・先月の国会で高齢者対策が、また新しく決まったが、福祉協議会の負担が心配。
- ・介護離職せずに、介護が出来ることがわかりました。頑張ります。

